

北いわて最前線

2012
5月

県北広域振興局情報誌

CONTENTS

特集「あの日から一年」 …… 2~7

イベント情報 …… 8



手をつなごう。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波から1年あまり。被災地の子どもたちを元気づけようと企画されたラッピング車両「手をつなごう」が4月18日、お披露目されました。普代駅では、普代村のはまゆり子ども園の園児37人が乗車。どーもくんやきかんしゃトーマスたち50のキャラクターが描かれた三鉄で久慈駅までの旅を楽しみました。

あの日から一年

東日本大震災からの復旧・復興状況の紹介

平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波から1年が経過し、被災地では全国の皆様からの支援をいただきながら、復興に向けて一歩ずつ前進してきました。



漁船が並び震災前の姿を取り戻しつつある
普代村・太田名部漁港

農地・農業用施設の復旧



農地の復旧作業が
終了し、営農再開



のだ塩工房の復活

新工房が完成し製造を
再開したのだ塩工房

復興に向けた取組の内容

項目	取組の内容
生活の再建	被災者のこころのケアや健康を保つための相談のほか、生活再建支援のための取組を行っています。
廃棄物の処理	廃棄物269,300トン仮置場への撤去がおおむね終了し、平成25年度末までに適正な処理を完了するよう取り組んでいます。
商工業や雇用	被災した事業者のおよそ9割が事業再開。仮設店舗などでの業務も開始しています。今後も本格的な事業活動に向けて支援を行っていきます。
水産業	水産業はほぼ壊滅的な被害を受けましたが、今年度中に養殖施設、漁港など主な生産基盤、流通加工施設を復旧し、水産物の生産を被災前の水準に回復させるとともに、販路の回復・拡大の取組も進めます。
農業	被災農地61ヘクタールの農地・農業用施設（橋や水路など）を復旧し、除塩作業が進んでおり、今春からの営農に向けて取組を進めています。
防潮堤の整備	野田村前浜地区の防潮堤は、盛土による応急対策工事を行いました。現在、本格復旧工事に向けて、設計作業を進めています。また、防潮林は防潮堤の工事がある程度進んでから着手する予定です。
道路や港湾など	公共土木施設（港湾・道路・橋・河川・海岸）は、早期発注に努めています。本年度以降、本格的に復旧工事を進めていきます。

三陸鉄道（田野畑～陸中野田間） 運転再開



4月1日から一部運転再開した三陸鉄道（写真:再開を祝い、久慈駅で開催された駅まつりで、かわいらしい踊りを披露する久慈湊保育園児）

JR八戸線 全線運転再開



3月17日に、被災したJR在来路線で初めて全線再開した八戸線
待望の再開を待ちわびた沿線住民が歡喜しました

完成した洋野町営八木魚市場



八木魚市場修繕完了により、被災前にも増して一層の機能向上が期待されます

久慈市漁協食品加工場



昨年12月にシメサバの製造加工が再開し、全国に向けて出荷が始まっています

復興ワカメのボイル作業



本年3月に普代村のワカメ加工施設が完成し、浜に活気が戻っています

新設された野田村漁協魚市場と製氷貯氷施設

昨年12月に新しい製氷貯氷施設が完成し、野田村の水産業復興の象徴となっています



復旧・復興が 一步一步前進

稚ウニ順調に成長



すくすくと育つ稚ウニ

栽培漁業協会種市事業所では、震災直後から種市高校の生徒、近隣の漁業者によるガレキ撤去などの応援もあって、仮復旧を遂げました。昨年9月に採卵・採苗された稚ウニは、現在順調に生育し、5月からの100万個の出荷に向け細心の注意を払って飼育に取り組んでいます。25年度での200万個出荷体制を目指し、施設の本復旧に向けた工事も始まりました。管内漁業者は一日も早く稚ウニの放流ができることを心待ちにしています。

サケ稚魚の放流再開

サケ親魚捕獲施設やふ化場、飼育池などの復旧が進んでいます。復旧した施設では、昨年9月から本年1月に採卵した卵からふ化した稚魚が順調に成長しています。稚魚の放流は3月中旬から始まっており、5月上旬まで続きます。3~4年後には、アラスカ湾までの長い旅を終えて元気で戻ってくるのが期待されます。

なお、水産物の生産には、種苗生産体制の復旧は重要な課題であり、平成24年度中に主要な生産基盤施設の復旧を完了する予定です。



順調に成長するサケ稚魚

災害廃棄物の処理作業が本格化

災害廃棄物の処理について、分別及び処理作業が本格化しています。廃棄物の総量は269,300トンに及びますが、仮置場への撤去はおおむね終了し、現在は混合ガレキの分別作業や焼却などの処理を行っています。分別された廃棄物は久慈地区ごみ焼却場やいわて第2クリーンセンター、八幡平市清掃センター、二戸地区クリーンセンターなどで処理されています。また、青森県八戸市や秋田県、埼玉県など県外の自治体や民間業者による視察や試験焼却も行われており、着実に処理が進んでいます。今後も、県では市町村と情報共有しながら、速やかな処理に取り組んでいきます。



平成26年3月末までの処理に向けて、八戸市や内陸市町村など県内外との協議を経て早期処理を進めます

道路仮復旧で駅伝開催

震災の影響により大きく壊れた久慈港半崎地区の臨港道路湾岸線が仮復旧し、昨年11月6日(日)、例年開催している「久慈もぐらんぴあ駅伝競走大会」(久慈市体育協会主催)が、地下水族科学館もぐらんぴあを発着点に開催されました。県内外から36チームが参加。小学生マラソン大会も同時に開催され、沿道からは多くの声援が送られました。また、現在仮道による迂回を行っている野田村の広内橋は、8月中の完成の目途が立ち、お盆前の開通を目指して工事が進められています。



仮復旧した道路を舞台に健脚を競いました

新しいまちづくりが始動

被災した沿岸地域では集落移転等に向けた取組が進んでいます。野田村では、4月上旬に、県内初となる防災集団移転促進事業計画の同意を国から得て、対象地区(米田・南浜地区、城内地区)の住民に説明会を行いました。造成工事が今年10月頃から着手され、平成27年3月以降に完成する見込みです。また、城内地区には、平成26年3月を目標に、県営災害公営住宅の整備が進められます。

また、久慈市と洋野町においても、住民の意向を踏まえながら、災害に強い新しいまちづくりが進められています。

地域の雇用に一役

震災津波により、沿岸部に立地する水産加工会社を中心とする多くの事業所は甚大な被害を受けました。それぞれの事業所では、被災箇所の再建と地域の雇用確保に向け、取り組んでいます。

事務所や工場が被災した北日本造船(株)久慈工場(中野輝夫工場長)では、被災直後から従業員がガレキ撤去作業を開始。昨年6月から本格稼働を実現し、200人を超える雇用を守りました。現在、久慈工場では同社造船作業全体の約7割を担っており、雇用の確保により、地域経済の活力の源になっています。



本格稼働した工場で作業する従業員

あたたかい支 援に感謝

復興願い マンドリン演奏



明治大学マンドリン倶楽部のOBを中心に組織するマンドリンオレンジによるコンサートが4月29日、もぐらんぴあ・まちなか水族館で開かれました。同団体が、復興を願い「演奏を聴いて楽しい時間をすごしてもらいたい」と企画。「丘を越えて」「川の流れるように」などおなじみの曲を演奏しました。訪れた約50人の観客は、マンドリン特有の哀愁漂う美しいメロディーに聴き入っていました。30日には、三陸鉄道車内でもコンサートが行われ、演奏を聴いた乗客は、復興への願いを新たにしている様子でした。

「寄り添い」 誓うチーム 北リアス



仮設住宅で開催した「たこ焼きパーティー」(11/26)には約30人が参加。交流を深めました

関西や関東、青森県などの個人や団体に組織するボランティア団体「チーム北リアス」は野田村での支援活動を行っています。昨年5月に現地事務所を構え、仮設住宅の見守りや足湯、植樹などでの交流を展開。「住民の声を聞き、行政の声を聞き、お互いのパイプ役としての役割も担っていきたい」と現地事務所の塩田朋陽(ともや)さん(大阪大学3回生・21歳)。

「今後は、村の中心部にお好み焼き屋を作りたい。皆と顔見知りになりたいですね」。野田村で人のつながりや温かさに触れ、末永い寄り添いを誓っていました。

二戸まつりに 「のんちゃん」ら参加



昨年9月2日～4日まで、二戸まつりが開催されました。中日の3日に行われた流し踊りには被災地であり、二戸市が力を入れて支援してきた野田村から、マスコットキャラクターの「のんちゃん」と村関係者が参加。支援に対する感謝の気持ちが伝えられました。

流し踊りで感謝の気持ちを伝える「のんちゃん」ら

ほかにも あたたかい支援

血圧測定などで支援

二戸高等看護学院では、主に野田村の方々を対象に仮設住宅や施設などでミニコンサートやハンド・フットマッサージや血圧測定等を行い、「癒し」の時間を過ごしていただく活動を行っています。

看護師を目指す学生が被災地での活動を経験することにより、看護職員の人材育成効果が期待されています。

バランスのとれた食事提供

久慈保健所などでは、食生活改善推進員の指導による調理実習を行っています。被災された方から、予算や調理器具が限られるため「食事のバランスが偏る」との意見が多くあったことから、季節の旬の食材を活用した調理実習を開催。皆で食卓を囲むことによる憩いの場の提供にもなっています。

九戸村山友会が支援活動



10月10日に仮設住宅地2か所で行われた炊き出しは多くの人たちでにぎわいました

登山愛好家で組織する九戸村山友会(小笠原耕悦会長、57人)は昨年4月11日から野田村での支援活動を行っています。炊き出しや支援物資の提供のほか、合唱や太鼓演奏を披露するなどして被災者との交流を継続しています。会では、今後も「つながろう!村と村」をモットーに、村民登山や地元の温泉への招待をするなどして交流していく予定です。

久慈地区被災者相談支援センター

久慈地区被災者相談支援センターでは各分野の専門家と相談員が各種相談を受付けています。特に、最近は住宅に関する相談が増えています。

- ◆場所 久慈地区合同庁舎1階
- ◆時間 9時～17時(平日)
※専門家の対応は10時～15時
- ◆専門家 月:弁護士、火:司法書士、水:建築士(隔週)、木:土地家屋調査士(隔週)、金:ファイナンシャルプランナー ※出張相談等で不在の場合あり
- ◆電話 0120-934-755(フリーダイヤル)



久慈地域こころのケアセンター



3月28日におこなわれた開所式の様子(大塚耕太郎 久慈地域こころのケアセンター・副センター長(右)と松岡博典北広域振興局長)

久慈地域こころのケアセンターが本年3月28日、久慈地区合同庁舎内に開所しました。同センターは、久慈・宮古・釜石・大船渡に開設されたもの。久慈地域では、毎週水曜日に野田村総合センター内で「こころの健康相談センター」を開設し、被災による心の不調(不安や恐怖心を強く感じる、眠れないなど)について臨床心理士や保健師などのスタッフが相談をお受けしています。お気軽にご相談ください。

- ◆日時 毎週水曜日 10時～15時30分
- ◆場所 野田村総合センター内「こころの健康相談センター」

折爪岳 ヒメボタル観賞会

東北最大級の数!折爪岳に生息する100万匹以上のヒメボタルの乱舞を地元ガイドの案内で観賞します。

■開催日 19:00~21:00(7月7日(土)~16日(月))

※天候により中止する場合あり

■お問い合わせ先 二戸市商工観光課 ☎0195-23-7210

■交通 JR二戸駅より車で約30分。

観賞会期間中は、無料シャトルバスあり(要予約)



たねいちウニまつり

ウニまつりでは、むき身ウニ(ピン入り)や、殻付きウニの販売が行われます。旬のウニを満喫できるチャンスです!

■開催日 7月15日(日)10時~15時

■会場 洋野町種市海浜公園駐車場

■お問合せ先 ひろのイベント事業実行委員会(洋野町水産商工課内)

☎0194-65-5916



平庭闘牛大会

東北ではここでしか見られない!迫力の闘牛をお見逃しなく!

■開催日

6月10日(日)11:00~

■会場 平庭高原闘牛場

■お問い合わせ先 いわて平庭高原闘牛会(久慈市産業建設課) ☎0194-72-2111

■入場料 前売り券(800円)は、電話で予約可能。当日券1,000円(小学生以下無料)



平庭高原つつじまつり

新緑美しく、つつじが咲き誇る平庭高原を舞台に地元特産品の販売や各種イベントを行います。日曜日には各種郷土芸能や俳句大会、フリーマーケットなどが行われます。

■開催日 6月9日(土)~10日(日)10:00~16:00

■会場 平庭高原

■お問い合わせ先

平庭高原まつり実行委員会(久慈市産業建設課)

☎0194-72-2111



短角牛まつり

北いわての広大な牧場に放たれ、自然栽培の牧草と無添加の飼料を食べながら育った安全・安心な短角牛の柔らかな肉質と味をご堪能ください。

■開催日 6月23日(土)、24日(日)、30日(土)、7月1日(日) 11:00~15:00

■会場 カシオペアメッセ・なにやーと(東北新幹線二戸駅隣接)

■お問い合わせ先 二戸市観光協会 ☎0195-23-3641

■料金 1人2,000円。1日限定200食予約制(5日前までに要予約、定員になり次第終了)



JR東日本 駅からハイキング



いわてデスティネーションキャンペーンに合わせて企画した、期間設定コースが予約不要でご参加いただけます。駅を起点にテーマに沿ってハイキングしながら地域の魅力を再発見!!

◆源義経北行伝説の地・久慈を歩こう!~北巡り~/開催期間:6月2日(土)~30日(土)◆「歴史満杯街中散策」いわて・二戸/開催期間:4月1日(日)~6月30日(土)◆いわて・一戸町「太古のロマンと懐かしい街を歩く」/開催期間:4月1日(日)~6月30日(土) ※ただし、毎週月曜日は開催いたしません

■コース・受付時間など詳細は

<https://www.jreast.co.jp/hiking>

■お問い合わせ先 駅からハイキング事務局 ☎03-5719-3777

お知らせ

今年度、インターネットを利用した岩手県(主に県北地方)の魅力を発信を充実強化します。地元の魅力再発見のためにもぜひご覧ください。皆様からの情報提供もお待ちしております。皆さんで県北地方を盛り上げていきましょう!!

岩手県

ブログ <http://plaza.rakuten.co.jp/machi03iwate/>

ツイッター <https://twitter.com/#!/ihatoblog>

県北

ホームページ <http://kitaiwatekizuna.blog.fc2.com/>

フェイスブック <http://www.facebook.com/kitaiwatekizuna>



ライターハンドルネーム:
ゆきつち、さつち